



「科学革命」期の自然科学者についての問題。

出題頻度の少ない人物の著書名についての知識が必要とされている。

共通テスト

河合塾

第3問 問6

問 6 下線部①に関して、生徒Bは近代の芸術について次のレポートを作成した。
空欄 a ~ c に入る語句の組合せとして最も適当なものを、後の
①~⑥のうちから一つ選べ。 14

レポート

近代になると芸術は次第に宗教から独立していくが、この点を考える際には自然科学の成立の歴史が参考になる。『天文対話』を著した a や『プリンキピア』を著したニュートンら、17世紀の科学革命の担い手たちは、自然の秩序の解明が神の栄光を示すことにつながると考えていた。しかし、実験と観察を重視し、数式を用いて b を解明しようとするなかで、やがて自然科学は、宗教から独立していくことになる。

では、芸術はどうだろうか。ルネサンス期の芸術家は多くの宗教画を描いており、神の栄光を伝えるという宗教的伝統を引き継いでいたが、その一方で、遠近法を取り入れるなど、人間の目に映る世界の中に美を見出し、それを表現しようとした。このような c の精神から、芸術は次第に、それを感受したり創造したりする人間との関係で捉えられるようになっていく。その結果、18世紀になると、芸術作品は作者の自己表現として考えられるようになる。こうして芸術は、宗教的文脈から離れて、それ自体として価値があるものとみなされるようになったのである。

- ① a コペルニクス b 四原因 c プロテスタンティズム
② a コペルニクス b 四原因 c ヒューマニズム
③ a コペルニクス b 因果法則 c プロテスタンティズム
④ a ガリレイ b 因果法則 c ヒューマニズム
⑤ a ガリレイ b 因果法則 c プロテスタンティズム
⑥ a ガリレイ b 四原因 c ヒューマニズム

第2回サクセス・クリニック
第4問 問 33

(33) 下線部②に関連して述べた記述として最も適当なものを、次の(イ)~(ニ)のうちから一つ選べ。

- (イ) コペルニクスは『天球の回転について』を著し、アリストテレスやプトレマイオスらの地球中心の宇宙観を否定した。
(ロ) ガリレイは『プリンキピア』を著し、宇宙の無限性を主張したため、異端として処刑された。
(ハ) ケプラーは『新科学対話』『世界の調和』を著し、振り子の等時性や落体の法則を発見し、宇宙は数学の言葉で書かれていると述べた。
(ニ) ニュートンは『天文対話』を著し、万有引力説に立って惑星の軌道形とその運動に関する三法則を発見した。

共通テスト倫理では、単に思想家だけでなく、思想の潮流変化に関わった科学者やその他の人物などの知識も問われてきた。この問題は科学者の著作名についての正確な知識が必要となっており、新課程になり、そうした傾向が強まっているといえる。